

言葉わざ一覧

話し方	聞き方	書き方
<p>ていねい話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい。○○です。 ・はい。わたしは、▲▲だと思います。 ・聞き手の顔（ひょうじょう、目、はんのう【うなづく、くびをふる】）を見て話す。 <p>じゅんばん話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、○○です。次に、▲▲です。最後に、□□だと思います。 ・話の中で、「いつ」「どこで」「何を」入れて、話す。 <p>わけ話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、○○だと思います。わけは▲▲だからです。 ・ぼくは△△だと思います。わけは、○ページの▲▲行目に□□と書いてあるからです。 <p>見て見て話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に思いや考えなどを伝える時に、物を見せたり、何かをゆびさしたりしながら話す。 ・○○はこうやって（言葉とみぶりをつかいながら）▲▲するとできます。 <p>くらべて話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは○○さんとちがって（同じで、にいていて）▲▲です。 ・○○は▲▲だったけど、□□は少しちがって～です。 <p>せい長話（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、はじめは○○だったけど、▲▲さんの話を聞いて、□□になりました。 <p>たいけん話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、前に○○したことがあって、▲▲でした。 ・ぼくが、前にやったときは▲▲な気持ちになりました。 <p>たとえば話（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは○○だと思います。たとえばここが、▲▲だったとしますよね。すると□□になります。 ・ぼくが、もし○○だったら、きっと▲▲すると思います。 ・もし、○○だった場合、▲▲だと思います。 <p>よびかけ話（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは▲▲とってくれましたよね。 ・○○ということがわかりましたよね。 ・「ここまで分かりますか」と聞く。 ・話のさい後に、「どうですか」と聞く。 	<p>ていねい聞き（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が話しはじめたらやっていることをやめて聞く。 ・さい後まできっちり話を聞く。 ・話し手の方に体をむけて、顔（ひょうじょう・目を）見て聞く。 <p>くらべて聞き（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと「同じかな」「ちがうかな」「にているかな」「理由は同じかな」「理由はちがうかな」「べつの言い方はできないかな」「わかりやすい、たとえ方はないかな」などくらべながら聞く。 <p>かえし聞き（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないときは、聞き返す。「どういことですか。」 ・しつ問する。「○○はどうなりますか。」 ・かくにんする。「▲▲ということですか。」 ・つけたす。「○○さんの▲▲といういけんにつけたしで…」 <p>メモとり聞き（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひつような時は、短くメモをとりながら聞く。 <p>なっとく聞き（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の言いたいことは「何だろう」と考えながら、大事なことを落とさず聞く。 ・「ぜったいに?」「でも～」「～ということですか?」「別の立場で考えると～」など、なっとくするまで聞く。 <p>まとめ聞き（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめると～」「～しようよ。」など解決の方向を示せるように聞く。 	<p>ていねい書き（低）（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字をマスの中に入れて書く。 ・ていねいな字で書く。 ・。（句点） や 、（読点） 「 」をつかって書く。 ・決められた時間内に書く。 <p>そろえて書き（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～だ、～である」か「～です、～ます」に気をつけて、どちらかにそろえて書く。 <p>様子書き（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たこと（○○を見ました。）、したこと（□□をしました。）、思ったこと（▲▲とと思いました。）をくわしく、たくさん書く。 <p>じゅんじょ書き（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まず、○○」「次に、▲▲」「さい後に、■ ■」などの言葉をつかって、じゅんじょがわかるように書く。 <p>たとえば書き（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たとえば、▲▲だと思います。」などの言葉を使って、れいをあげてわかりやすく書く。 <p>せいり書き（中）（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切なところは、色をつかう。線を引く。線でかこむ。 見やすいノートにするために、行をかえる。間を開ける。絵や図をつかう。題名をつける。かじょう書きで書く。 <p>くべつ書き（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事実（本当にあったこと 誰でも確かめられること） 意見（自分の考え）をくべつして書く。 <p>くふう書き（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさをかえて書く 見出しをつけて書く 線でかこんだ部分を→でつないで、図式化する。

